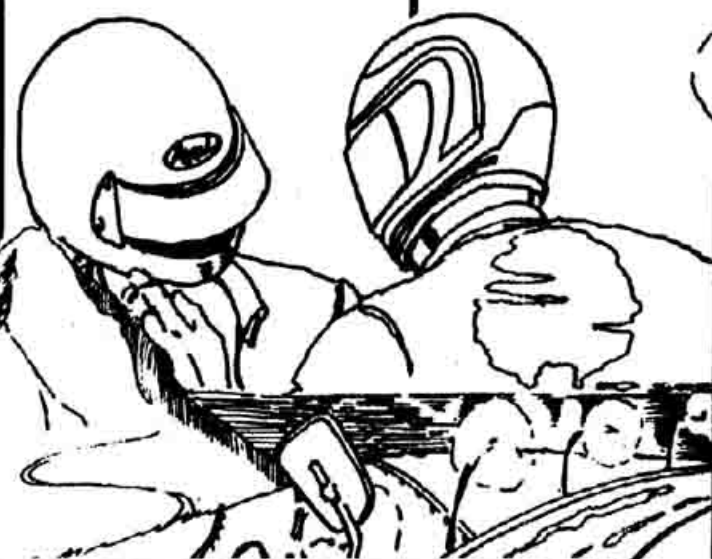


ARAI NEWS

(株)新井広武
〒330 埼玉県大宮市東町2-12
☎0486(41)3825-7



レースを忘れた(?!) Arai

ARAIのモータースポーツでの活躍は、ご存知の通りだと思いますが、ARAIは「レース一辺倒のお固いメーカー」ではない、という話をしたいと思います。確かに、私たちはレースが好きで、開発スタッフをはじめ、トップに至るまでレース場に出かけていきます。そして参加しているライダーたちと話し、一緒になってレースに参加します。しかし、これらは、あくまで「より安全なヘルメットを」という開発の一部として、究極のテストグラウンドであるモータースポーツに参加しているのであり、ARAIのすべてではありません。

●
今、新しい感覚のグラフィックデザインで大好評のラバイドV-IIと、トフィーV-II。もう、手に取ってご覧頂けたでしょうか?。「今までのARAIとちょっと変わったデザイン感覚」とデザイナーは自負していますが、このデザインは「音楽」というテーマからイメージしたもののなのです。モーターサイクルを操る実感、解放感、

そしてその緊張から解放された充実感を味わう時、そのフィットする音楽があるはずで、例えば、サーフィンで出会った真青な海と白い砂浜、キラキラとした太陽にサンバのリズムを感じるかも知れません。また、旅先で立ち寄ったカフェでは、8ビートが印象的だったかも知れません。ただひたすら走るだけでなく、そんなゆとりを持ったバイクライフを楽しんでほしいという願いをこめて、デザインしたのが今回のラバイドV-IIとトフィーV-IIです。

●
ARAIもこうした「機能一辺倒」でない製品を送り出せるようになったのも、一つのゆとりだと考えています。「世界の一流品」をめざして、あらゆる開発を続け、それなりの評価を頂いて来たからこ

そ、発想できたことなのです。もちろん、今がベストだと考えている訳ではなく、さらに次の事を考え、前進させていくことに手を休めている訳でもありません。そうした安全性を追求する方向や方法に見通しがついているからこそ、考えられることなのです。

●
バイクは楽しむためのもの。もっともっと楽しんでほしいと思います。ARAIもそうした心のゆとりを持ちながら、私達の使命である「究極の安全」を追求していきたいと思います。1人でも多くの人々が、バイクを楽しみ、そしてより安全であることをいつも願っているARAIにご期待ください

